

長距離クロスカントリースキーヤーの不整脈のリスク

90km のクロスカントリー・スキーイベント、バーサロペットの参加者について、完走したレース数および完走時間と不整脈のリスクとの関連性を検討した。

1989 年から 1998 年のバーサロペットで完走した心臓血管病のないすべての参加者について 2005 年 12 月まで追跡した。

その結果、追跡期間中に 52755 人の参加者のうち、919 人に不整脈がみられた。完走したレース数が多いほど、不整脈、心房細動、徐脈性不整脈のリスクが高かった（ハザード比はそれぞれ 1.3、1.29、2.10）。完走時間が速いほど不整脈、心房細動、徐脈性不整脈のリスクが高かった（ハザード比はそれぞれ 1.30、1.20、1.85）。

90km のクロスカントリー・スキーイベントの男性参加者において、完走時間が速いほど、また完走レース数が多いほど、不整脈のリスクが高いことが示された。

（出典: European Heart Journal 2013; Jun 11. [Epub ahead of print]）